

# 診療報酬改定で消える 地域連携パス

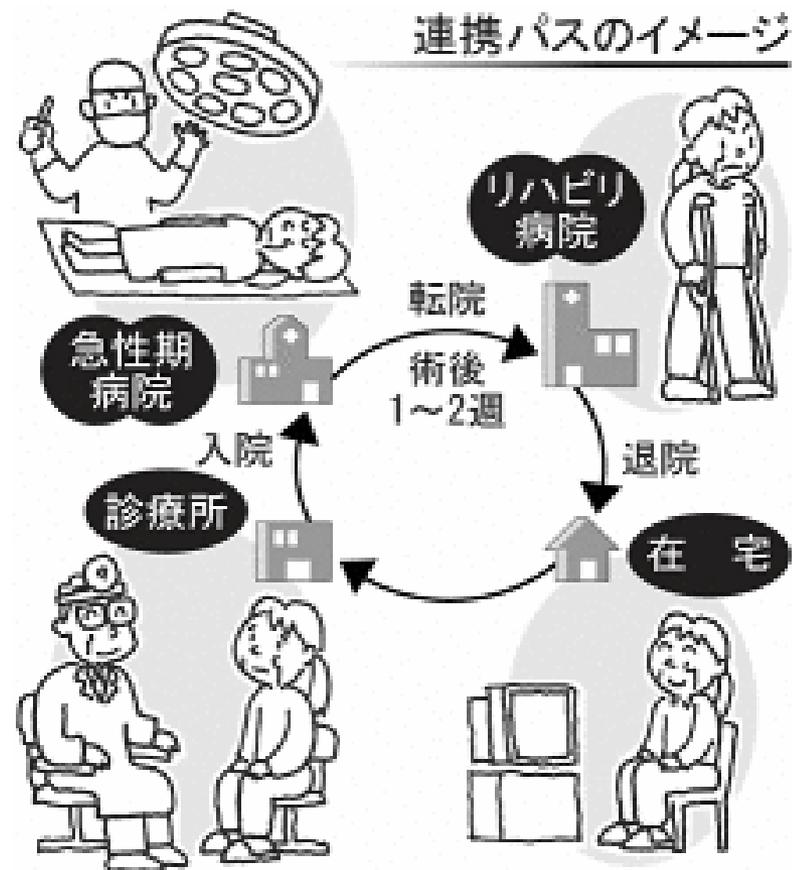


国際医療福祉大学大学院教授  
武藤正樹  
(日本医療マネジメント学会副理事長)

# 地域連携クリティカルパスとは？

## • 地域連携クリティカルパス

- 疾病別に疾病の発生から診断、治療、リハビリまでを、診療ガイドラインに沿って作成する一連の地域診療計画
- 病病地域連携クリティカルパス
- 病診地域連携クリティカルパス
- 介護連携クリティカルパス

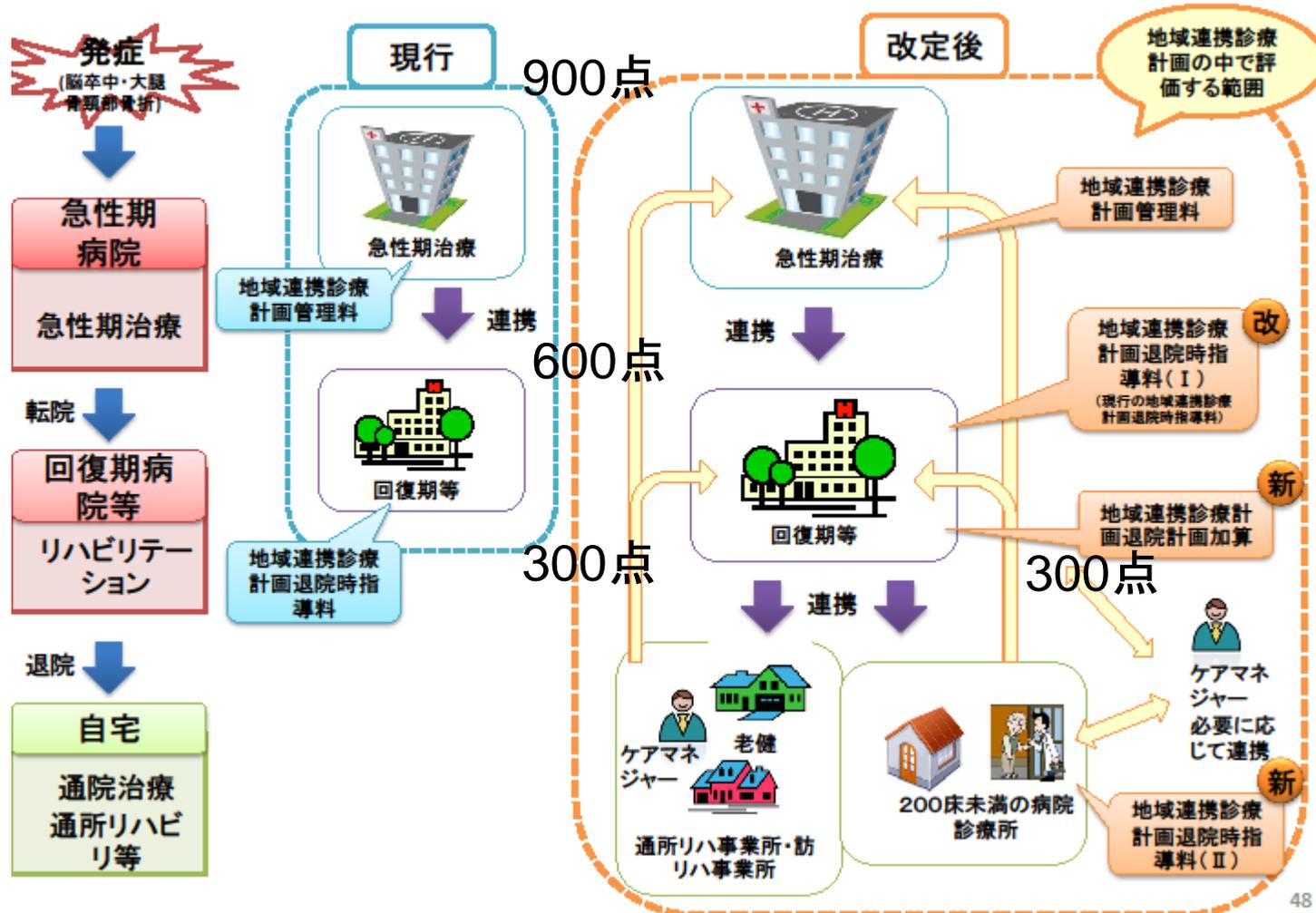


# 地域連携クリティカルパスとは？

- 医療計画における医療連携の考え方
  - 各医療機能を担う関係者が、相互の信頼を醸成し、円滑な連携が推進されるよう実施する。
  - 関係者すべてが認識・情報を共有した上で、各医療機能を担う医療機関を決定する
    - 医療連携の必要性について認識の共有
    - 医療機関等に係る人員、施設設備及び診療機能に関する情報の共有
    - 当該疾病及び事業に関する最新の知識・診療技術に関する情報の共有
- 状況に応じて、**地域連携クリティカルパス**導入に関する検討を行う
- 医療計画作成指針（2007年7月通知）

# 2006年、2010年診療報酬改定で 脳卒中地域連携クリティカルパスが導入

## 大腿骨頸部骨折・脳卒中に係る医療機関等の連携の評価



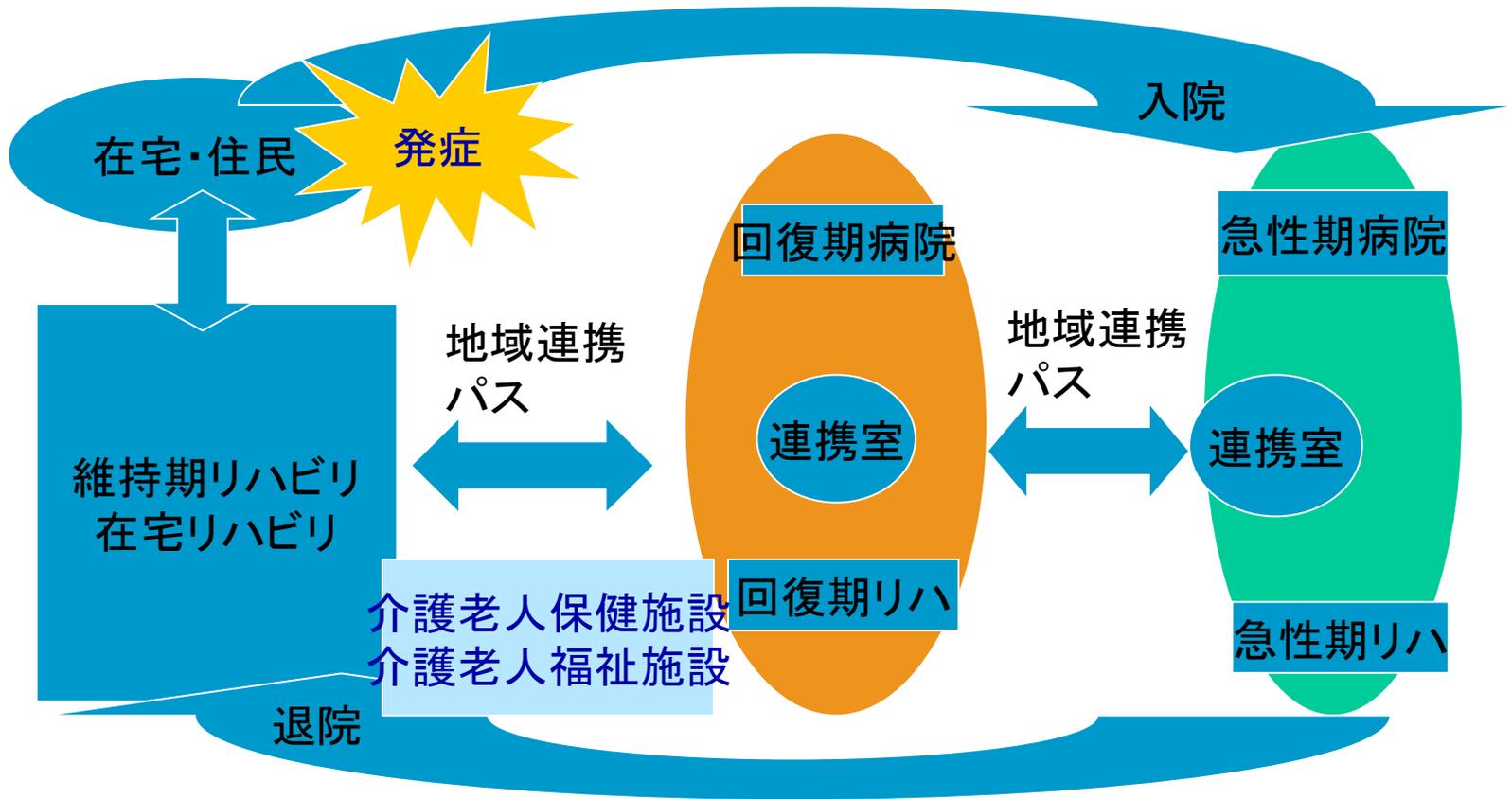
# 脳卒中地域連携パスの 東京都内の事例

メトロポリタン・ストローク・ネットワーク 慈  
恵医大リハビリテーション医学講座



安保雅博教授

# 脳卒中連携と地域連携パスの流れ



# 東京都内近郊の脳卒中地域連携ネットワーク構築にむけて



急性期 (22施設)

回復期 (20施設)

維持期 (11施設)



# 一般社団法人脳卒中地域連携パス協会発足

脳卒中パスのASP化、2012年6月30日 全国町村会館



# 2016年診療報酬改定と 地域連携パス



中医協

# 地域連携パスと 退院支援について

ストラクチャーではなく、アウトカムを評価すべき

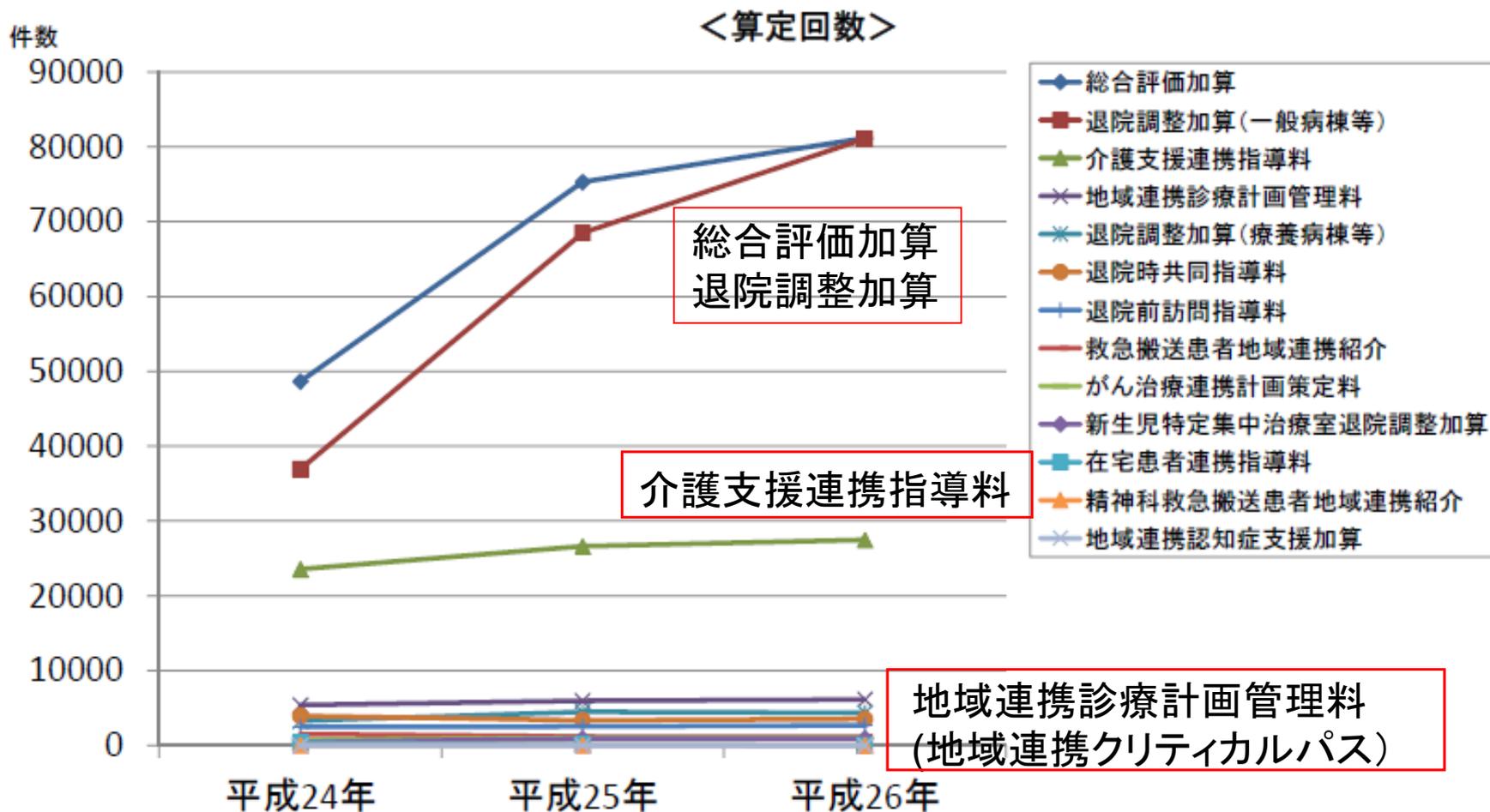
地域連携パスは使われていないようだ。  
退院調整加算に整理しては？

退院支援の専従者などの配置が在宅復帰に効果的

中医協・入院医療等調査・評価分科会  
(2015年7月1日)

# 退院支援に係る主な診療報酬上の評価の算定状況

○ 退院支援に係る診療報酬上の評価は多く存在するが、退院調整加算、総合評価加算、介護支援連携指導料等一部の項目を除き、算定回数はそれほど多くない。



# 退院調整加算の見直し

- 退院調整加算の見直し
  - (1) 施設基準を厳格化するとともに、点数を引き上げることで退院支援を充実させる
    - 退院支援に専従する職員が、複数の病棟を担当として受け持ち、多職種カンファレンスを実施して、入院後早期に退院支援に着手する体制
    - 医療機関が他の医療機関などと恒常的に顔の見える連携体制の整備
  - (2) 「地域連携診療計画管理料（地域連携クリティカルパス）」などを、退院支援の一環とする

# 廃止された項目

- (1) 新生児特定集中治療室退院調整加
- (2) 救急搬送患者地域連携紹介加算
- (3) 救急搬送患者地域連携受入加算
- (4) 地域連携認知症支援加算
- (5) 地域連携認知症集中治療加算
- (6) 地域連携診療計画管理料
- (7) 地域連携診療計画退院時指導料 (Ⅰ)
- (8) 地域連携診療計画退院時指導料 (Ⅱ)

地域連携パス加算は  
廃止され  
退院支援加算に吸収  
された！

## まとめ

- 地域連携クリティカルパスは医療計画作成指針の中にまず書き込まれた
- 2006年より診療報酬加算の対象となった
- しかし、その実績が少なかったことより、2016年診療報酬改定で地域連携パスは退院支援加算に吸収され、消えた。
- 地域連携クリティカルパスの電子化も危うい